

武雄高校だより

令和 5年 3月 14日発行 第232号

発行者 佐賀県立武雄高等学校

TEL : 0954-22-3103

FAX : 0954-20-1010

URL : <https://www.education.saga.jp/hp/takeokoukou>



● 武雄高等学校 第14回 卒業証書授与式 ●

3月1日(水)に第14回卒業証書授与式が行われ、3年生223名が卒業しました。感染症対策緩和を受け、3年ぶりに校長より卒業生一人一人へ卒業証書が手渡されました。厳粛な雰囲気の中にも温かみのある、思い出に残る素晴らしいものになったことと思います。今年度は日本国では円安による物価高騰や社会不安、海外では様々な災害や紛争が起り、暗い影を落としましたが、担任からの呼名を受け、しっかりとした声で返事をする3年生の姿からは、どのような困難も乗り越えていく力強さを感じました。それは、武陵祭など学校生活を通して在校生にも深く刻まれていると思います。この3年間で培った力を基に、未来へと羽ばたいていってくれることを期待します。以下に、卒業生代表の原田智太さんの答辞を載せていますので、ご覧ください。



答辞

御船山の緑も潤いを帯び、この武雄の地にも春の訪れが感じられる今日の日、私たち第十四回卒業生のために、このように盛大で厳粛な式典を挙げてくださり、誠にありがとうございます。先生方をはじめ、ご来賓、保護者の皆様にご臨席いただく中で、この日を迎えられることを、卒業生一同を代表し厚く御礼申し上げます。三年前の春、私たちは希望と不安を胸に抱きながら、入学しました。教室に入ると、まわりには初めて顔を合わせる同級生たち。緊張しながら、オリエンテーションに参加したのを思い出します。この時はまだ思いも寄りませんでした。この後、皆さんとかげがえのない三年間を過ごすことになりました。「質実剛健」、「報恩感謝」の校是と、それぞれの目標を胸に、学業をはじめ部活動や課外活動に取り組んだ三年間。その中で互いに切磋琢磨し、高めあってきた時間は、財産であり宝物です。

三年生の皆さん、私たちは、リモートでの集会や授業、各種大会や学校行事の中止、延期など、密を回避する三年間を過ごしてきました。入学後間もなく、一斉休校が実施されるという前代未聞の高校生活のスタートを切り、入学後すぐの貴重な時間がなかったことはとても残念でした。そのような中、二年生の冬に行われた修学旅行では、大地の緑が見え隠れする雪景色に若干戸惑いながらも、夢中になってスキーを楽しみました。武陵祭では、感染予防に配慮しつつ、それぞれが工夫しながら、高校生活の一大イベントを満喫することがで

きました。私個人の話ではありますが、私が生徒会長を務めた時に、体育祭の新競技で使用する道具が、総練習で呆気なく壊れてしまうということがありました。一つ制作するのに多大な時間と労力を費やし、三、四回も作り直しをしたので、とてもショックでしたし、武陵祭がうまく進むか一気に不安になりました。しかし、三年生の皆さんが声をかけ、協力してくれたおかげで、武陵祭は成功裡(り)に終わり、人の温かさと協力することの大切さを実感することができました。その時のことは、青春の一ページとして今も確かに胸に刻まれています。

そして、在校生の皆さん、今日、皆さんに直接お礼を言えないのが残念です。在校生の皆さんのおかげで、私たち三年生は、学校行事も楽しむことができ、そして今年は、それぞれの進路実現に向かって、全力で学習に打ち込むことができました。私たちがこの武雄高校を去った後、この学校の顔になるのは皆さんです。様々な場面で時には壁が立ちはだかることもあるかと思いますが、皆さんには、頼れる先生方、そして、苦勞を共にし、励まし合うことのできる仲間がいます。挑戦することを恐れず、その時、自分ができることを懸命にやり遂げてください。心から、応援しています。また、時に厳しく、時に優しく、愛情をもって、私たちを見守り、サポートしてくださった学年主任の井手先生をはじめ、多くの先生方。本当に感謝してもしきれません。私たちの進路実現のため、学習面だけでなく、様々な面で支えていただきました。個人面談や三者面談での先生方のアドバイスは、私たちの人生に間違いなく大きな影響を与えるものだったと思います。新型コロナウイルスや、新しくなった大学入学共通テストへの対応など、先生方の助けなしには、とても乗り越えることはできませんでした。「凡事徹底」、「覚悟と執念」。先生方の情熱のこもった言葉や、先生方とのかけがえのない思い出を胸に、これからの人生を歩んでいきます。三年間、本当にありがとうございました。

そして、家族へ。嬉しい時も、つらい時も、私たちの一番近くで支え、励ましてくれました。普段は照れくさくてなかなか言えませんが、感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは今日、この高校を卒業し、それぞれの道を歩んでいきます。これからも心配や迷惑をかけていくと思いますが、どうか、そばで温かく見守っててください。今後は、私たちも一人の大人として、ここまで育ててくれた家族に恥じぬように、家族を支えていけるように、頑張りたいと思います。

さて、今、新型コロナウイルスの影響も徐々に落ち着いてきてはいますが、世界には、ロシアによるウクライナ侵攻や、トルコ・シリアの地震災害など、我々が目を向けるべき問題があります。それらの問題を解決していくのは他でもない、私たちの世代です。私たちは、この武雄高校で、チームワークを養い、挑戦し、乗り越えることを経験することができました。本日、私たちは、思い出深いこの武雄高校を巣立っていきますが、グローバル化の進む今日(こんにち)において、独立自尊の日本を築き、世界に貢献できる人材となれるよう、これからも日々精進していくことをここに誓います。

明日の栄えをきずかばや われら一途にはげむべし

明日の時代をになわばや 友よ叡智をみがくべし

讃えよ母校 武雄 武雄

最後になりますが、これからの武雄高校のさらなるご発展を祈念して、答辞とさせていただきます。

令和五年三月一日
卒業生代表 原田智太